北海道高等学校定時制・通信制パワーアップ事業推進計画書　［令和７年度(2025年度)］

学校名	北海道函館工業高等学校　（(定)・通）	校長名	小　野　博　道
所在地	北海道函館市川原町５番１３号		

（令和７年（2025年）５月１日現在）

学　　年		１年	２年	３年	４年	合　計	教　員　数（校長・教頭を除く。）	
生徒数	男	１７	１２	８	１３	５０		
	女	１	０	０	２	３	教　諭	１０
	計	１８	１２	８	１５	５３	養護教諭	１
学　級　数		１	１	１	１	４	合　計	１１

協力校	北海道森高等学校　(全)・定・通）	校長名	楯　石　保　史
協力校	日本航空高等学校北海道校　（全・定・(通)）	校長名	山　口　文　櫻

	〔実践研究課題〕	〔実践研究の概要〕
実践研究の概要	ア　特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実 ・特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実 ・その他、特別な教育的支援を必要とする生徒への指導の充実に資する取組	・外国籍生徒への日本語支援の充実と、教育的支援・自立支援を必要とする生徒に向けた校内体制の整備を推進する。 ・家庭・地域が学校と連携・協働し、生徒を軸とした持続可能な地域の教育環境づくりを推進する。 ・多様な進路希望に対応し、適切な時期や内容を系統立てた４年間のキャリア教育に向けた学校教育全体のカリキュラムマネジメントを推進する。

	月	実　践　研　究　内　容
実践研究計画	５	・生徒理解及び今年度実施計画の立案
	６	・外国籍生徒への支援体制 （個別の指導計画作成・協力高校、大学、支援員との連携・進路実現に向けた取組）
	７	・家庭・地域社会との連携・協働体制の構築
	８	（家庭・地域社会と連携した防犯教室） （家庭・地域社会と連携した一日防災学）
	９	・学校教育全体を系統立てた４年間のキャリア教育の充実
	10	【進路講話（全学年）先端技術講習（１学年）、現場見学（２学年）、インターンシップ（３学年）、職場体験実施（４学年）】
	２	・実践研究報告書の作成及び提出

実践研究の成果及び評価	〔期待される成果〕 ・特別な教育的支援を必要とする生徒への支援体制を実現する。(習熟度別指導・個別指導) ・地域ぐるみで生徒を支援する仕組や取組を進めながら、「地域社会の教育力」を高め、地域と共に学ぶ教育環境を実現する。 ・４年間の系統立てたキャリア教育により、自己の在り方や生き方を認識し、進路設計をしていくために必要な能力・態度の育成を実現する。 ・以上の成果から、自他のよさを活かし、意欲的に学び、社会を生き抜く力を育む教育を実現する。
	〔評価方法〕 ・生徒の気質やコンピテンシについて、教育活動前後の生徒の意識変容をアンケート等により把握しＡＩを活用した分析から、多面的に評価して個別最適な学びを実現する。 ・評価シートによる教職員、外部講師、ＰＴＡ、地域住民からの評価をもとに、実践研究の成果の検証・分析し改善につなげる。